

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名 交番ネットワーク整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 情報管理課 電話番号：058-271-2424 (内 2411)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,963 千円 (前年度予算額：21,723 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,723	0	0	0	0	0	0	0	21,723
要求額	20,963	0	0	0	0	0	0	0	20,963
決定額	20,963	0	0	0	0	0	0	0	20,963

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県警察では、警察本部と警察署を情報通信ネットワークで結び、1人1台のパソコンを用いて各種警察業務を効果的に遂行しており、平成26年度に全ての交番へネットワークを整備し、平成29年度には全ての駐在所へのネットワーク整備を完了した。

今後も、警察施設の新築等に合わせて通信回線や機器を拡充整備するとともに、老朽化した機器を計画的に更新する。

(2) 事業内容

岐阜県警察の情報通信ネットワークを交番と駐在所へ延伸整備することにより、交番や駐在所におけるネットワークシステムを利用した情報の共有化・有効活用を通じて、交番等で行う業務の効率化を図り、より多くの時間を街頭活動に振り向けることで、安全・安心な地域社会の実現に資する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の警察署と交番・駐在所との情報通信ネットワークの整備事業であり、交番や駐在所員との迅速・的確な情報共有は県民の安全・安心に資するものであり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

有り 【類似事業】

「警察統合情報通信ネットワークシステムサーバ等整備費」

上記事業は警察本部と警察署を情報通信ネットワークシステムで接続する事業であり、本事業は上記事業をさらに交番や駐在所まで接続する事業であり、重複するものではない。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	18,295	回線使用料
委託料	2,668	通信機器の保守費、建替・移転時の移設作業費
合計	20,963	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 国・他県の状況

全交番・駐在所にネットワーク整備済み 29 県

全交番にネットワーク整備済み 41 県

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 交番・駐在所におけるネットワークシステムの安定運用を確保し、業務の効率化、高度化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
交番・駐在所ネットワーク整備箇所数	0 <small>（H25）</small>	84 <small>（H26）</small>	217 <small>（H29）</small>	217 <small>（R2）</small>	217 <small>（R3）</small>	100%
	<small>（H ）</small>	<small>（H ）</small>	<small>（H ）</small>	<small>（H ）</small>	<small>（H ）</small>	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 令和2年度は、令和元年度整備の交番ネットワークシステム及び平成29年度整備の駐在所ネットワークシステムについて、回線及びネットワーク機器を引き続き運用している。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 県下の全ての交番・駐在所と警察本部・警察署を情報通信ネットワークで結ぶことにより、情報の共有や業務システムの利用が交番や駐在所でも可能となり、業務の効率化・高度化につながる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	交番や駐在所員との情報共有やシステムの利活用により、業務の効率化や高度化が図られ、多くの時間を街頭活動に充てることのできるため、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	従来はファックスなど紙媒体で警察署から交番への連絡・手配、交番から警察署への報告等が、電子メール等により迅速かつ効率的に行えるようになり成果はある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	交番等の端末から電子メールや掲示板、各種業務システムを利用できるようになり、交番等における業務全般の効率化に寄与している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 交番等へのネットワーク整備に伴い、交番等で使用するパソコンの更新や交番等における情報セキュリティ対策の継続が必要となる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 老朽化した通信機器や交番等で使用するパソコンを計画的に更新する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【 課 】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	